

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

鹿島市まち・ひと・しごと創生推進計画（第2期）

2 地域再生計画の作成主体の名称

佐賀県鹿島市

3 地域再生計画の区域

佐賀県鹿島市の全域

4 地域再生計画の目標

国勢調査の結果によると、鹿島市となった1955年（昭和30年）の39,392人から、2020年（令和2年）には27,843人と65年間で約30%も減少している。また2020年（令和2年）における全人口に占める年少人口（0～14歳）の割合13.6%は、全国平均11.9%よりやや高いものの前回5年前の14.1%より低く少子化が進行している。一方で、高齢人口（65歳以上）の割合32.8%（前回29.2%）は、全国平均28.6%より高く高齢化も進行している。国立社会保障・人口問題研究所による最新の今後の人口推計では、2050年度までに人口減少や少子高齢化はさらに深刻化することが予想されている。

自然的な要因の対策として、子育て支援や健康寿命を延ばすための施策などに力を入れる。さらに、社会的な要因による人口の流失への対策として、交通網の整備や企業誘致などを推進するとともに、鹿島の魅力を内外に発信することで郷土愛の醸成と移住・定住の推進を図り、これらの取組による好循環を生み出すことで人口減少対策を図っていく。

なお、これらに取組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標1 笑顔あふれる暮らしを守る
- ・基本目標2 次代を担う子どもたちの笑顔を育む
- ・基本目標3 地域の魅力発信と活力ある産業の創出・振興

- ・基本目標 4 人と人が支え合う健康と福祉の充実
- ・基本目標 5 豊かな自然環境と安全安心な暮らしとの共存共生
- ・基本目標 6 住まいと住環境を支える交通と都市基盤の整備
- ・基本目標 7 持続可能な行財政運営と確かな行政サービス

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市民アンケートでの「住みやすいまちと感じている」市民の割合(とても住みやすい・まあまあ住みやすい)	73.8%	76.8%	基本目標 1
ア	市民アンケートでの「まちなみや公園の整備(屋外施設)」で「満足、またはどちらかといえば満足」と回答した市民の割合	42.4%	45.4%	基本目標 1
イ	市民アンケートで「児童福祉・子育て支援の充実」に「満足、どちらかといえば満足」と回答した市民の割合	46.8%	49.8%	基本目標 2
イ	出生数	166 人	170 人	基本目標 2
ウ	新規就農者、農業後継者への支援実施による新規就農者数(5年間累計)	48 人	50 人	基本目標 3

ウ	地方創生移住支援事業等 を活用して転入した世帯 数（5年間累計）	17 世帯	20 世帯	基本目標 3
エ	市民アンケートでの「高 齢者への福祉制度・施設 の充実」で「満足、どちら かといえば満足」と回答 した市民の割合	54.6%	57.6%	基本目標 4
エ	市民アンケートでの「障 がい者への福祉制度・施 設の充実」で「満足、どち らかといえば満足」と回 答した市民の割合	50.5%	53.5%	基本目標 4
エ	市民アンケートでの「医 療施設や体制の充実」で 「満足、どちらかといえ ば満足」と回答した市民 の割合	47.0%	50.0%	基本目標 4
エ	市民アンケートでの「健 康づくり・予防対策の推 進」で「満足、どちらか といえば満足」と回答した 市民の割合	54.6%	57.6%	基本目標 4
オ	市民アンケートでの「防 災対策の推進」で「満足、 どちらかといえば満足」 と回答した市民の割合	53.8%	56.8%	基本目標 5
オ	市民アンケートでの「環 境対策の充実」で「満足、	49.7%	52.7%	基本目標 5

	どちらかといえば満足」と回答した市民の割合			
オ	市民アンケートでの「自然環境の保護」で「満足、どちらかといえば満足」と回答した市民の割合	62.2%	65.2%	基本目標 5
カ	市民アンケートでの「道路網の整備」で「満足、どちらかといえば満足」と回答した市民の割合	39.5%	42.5%	基本目標 6
カ	市民アンケートでの「住環境の充実」で「満足、どちらかといえば満足」と回答した市民の割合	38.4%	41.4%	基本目標 6
カ	市民アンケートでの「上下水道の整備」で「満足、どちらかといえば満足」と回答した市民の割合	47.6%	50.6%	基本目標 6
キ	市民アンケートでの「住民参加によるまちづくり」で「満足、またはどちらかといえば満足」と回答した市民の割合	48.1%	51.1%	基本目標 7
キ	市民アンケートでの「DX推進等による行政手続きの利便性向上」で「満足、またはどちらかといえば満足」と回	47.3%	50.3%	基本目標 7

	答した市民の 割合			
--	--------------	--	--	--

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

鹿島市まち・ひと・しごと創生推進事業（第2期）

- ア 笑顔あふれる暮らしを守る事業
- イ 次代を担う子どもたちの笑顔を育む事業
- ウ 地域の魅力発信と活力ある産業の創出・振興事業
- エ 人と人が支え合う健康と福祉の充実事業
- オ 豊かな自然環境と安全安心な暮らしとの共存共生事業
- カ 住まいと住環境を支える交通と都市基盤の整備事業
- キ 持続可能な行財政運営と確かな行政サービス推進事業

② 事業の内容

ア 笑顔あふれる暮らしを守る事業

人口減少が進む本市において、地域ではコミュニティ活動の縮小・停滞などのさまざまな課題に対応するため、幅広い住民ニーズへの対応と利便性の確保に取り組む

【具体的な事業】

- ・デジタルの活用による市民サービスの向上推進
- ・市民文化ホール SAKURAS を活用した市民交流の場の提供
- ・多文化共生社会への理解促進と地域コミュニティ活動の支援 等

イ 次代を担う子どもたちの笑顔を育む事業

安心して子どもを産み育てる環境づくりや子どもたちの健やかな成長

を見守り育む

【具体的な事業】

- ・こども家庭センターを拠点とした児童福祉と母子保健サービスの充実
- ・「かしまの学びスタイル」を活用した「分かる・できる」学習指導の充実
- ・若者が安心して働きやすく、暮らしやすいまちづくり 等

ウ 地域の魅力発信と活力ある産業の創出・振興事業

魅力・特性を磨きあげ、積極的に発信し、鹿島ファンとのつながりを図り、移住・定住や産業の活性化につなげる

【具体的な事業】

- ・鹿島の魅力や移住支援に関する情報発信と定住促進
- ・農林漁業の中核となる多様な担い手の育成と新規就業者・後継者への支援
- ・誘客・営業活動や効果的な情報発信による観光客誘致 等

エ 人と人が支え合う健康と福祉の充実

『地域の絆』『支え合い』をさらに磨き上げ、健康寿命を延ばすことで、将来にわたって心身ともに健康で自分らしく暮らしていく

【具体的な事業】

- ・生きがいとゆとりのあるまちづくりを支援
- ・健康で充実した生活を送るため、健康づくりを促す取組の推進 等

オ 豊かな自然環境と安全安心な暮らしとの共存共生事業

ラムサール条約登録湿地をはじめとした恵まれた環境を活かしつつ、豊かな自然環境と人とが共存する持続可能な循環型社会の実現

【具体的な事業】

- ・地域防災力（自助・近助・互助・共助）の向上
- ・SDGs の普及および貢献する事業の創出
- ・ラムサール条約に基づく海域環境および生物多様性保全に関する普及啓発活動 等

カ 住まいと住環境を支える交通と都市基盤の整備事業

施設の老朽化による更新や回収、公共交通の利用促進による維持など、

市民の快適な暮らしを支えるインフラの整備に取り組む

【具体的な事業】

- ・ 肥前鹿島駅前周辺整備
- ・ 自家用車のほか公共交通・徒歩等の生活様式の多様化に合わせた移動手段を推進 等

キ 持続可能な行財政運営と確かな行政サービス推進事業

次代に即した行政運営の効率化と健全な財政運営に取り組み、市民サービス向上のため連携・協働しながら様々な施策に取り組む

【具体的な事業】

- ・ 男女共同参画社会づくりの推進
- ・ 公共施設の今後のあり方の検討 等

※なお、詳細は鹿島市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第3期）のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

700,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度3月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

6 計画期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで